

輸出支援セミナー・試食意見交換会 2023（香港）

実施報告書

2024年2月

日本養鶏協会

# 1 イベント概要

## 1.1 事業概要

本事業は日本の鶏卵生産者に対するオンライン「輸出支援セミナー」及び、香港バイヤーを招致して実施する「試食意見交換会」により構成される。

輸出支援セミナーでは、参加企業に対し、香港の鶏卵市場動向に加え、輸出に係る手続き・規制に関してセミナーを実施した。

試食意見交換会では、日本の生産者と香港バイヤーの商談会を中心に、日本養鶏協会による日本鶏卵セミナーと異なる4ヵ国の産地の鶏卵を試食・比較するワークショップを行った。併せて、試食意見交換会の前後に、現地小売店調査とJETROによるブリーフィング、日本産鶏卵レストランフェア実施カフェとの意見交換、味珍味社への表敬訪問（デニス・ウー社長との面談）を実施した。

(表 1-1) 事業概要

イベント名	輸出支援セミナー	試食意見交換会
概要	香港の鶏卵市場動向及び輸出に係る手続き・規制に関するセミナー	香港における鶏卵バイヤーを招致し、日本養鶏協会によるセミナー、4ヵ国産鶏卵試食比較ワークショップ及び個別商談会
日時	2023年9月26日(水)13:00-15:00	2023年11月1日(水)13:30-17:30
会場	オンライン (Zoom)	香港銅鑼灣謝斐道535號 9樓
参加生産者	希望5社	希望5社
参加バイヤー	-	8社17名
その他参加者	講話：Benjamin Chan氏 (和味堂Director)	オブザーバー：成瀬 良枝氏 (領事館) オブザーバー：彦坂 久美子氏 (JETRO)

(表 1-2) 香港渡航中スケジュール

日付	時間	スケジュール
10月31日	16:00-18:00	小売店市場調査 (Sogo Fresh Mart, Wellcome, Marks & Spencer Food, City'super)
11月1日	10:30-11:30	JETRO 香港市場ブリーフィング
	13:30-14:00	試食意見交換会 受付
	14:00-14:20	日本鶏卵セミナー (日本養鶏協会)
	14:20-15:00	4ヵ国産鶏卵試食ワークショップ
	15:20-17:00	商談会 (20分 x 4回)
11月2日	9:30-10:30	レストランフェア実施店舗との意見交換
	11:00-12:00	味珍味 (香港) デニス・ウー社長と面談

## 1.2 日本側参加企業及び香港バイヤー

参加生産者企業は5社であり、試食意見交換会には各社1名が香港へ渡航し、香港バイヤーとの商談を実施した。尚、今回参加した5社は、いずれも香港への鶏卵輸出実績を持つ。

(表 1-3) 参加生産者

No	会社名
1	株式会社 群馬鶏卵
2	株式会社 籠谷
3	株式会社 くらもち
4	株式会社 トマル
5	神奈川中央養鶏農業協同組合

試食意見交換会には、香港に拠点を構えるディストリビューターを中心にポテンシャルバイヤーへの事前の案内、招待を実施した。招待状を送付した企業及び来場した企業は(表 1-4)の通りである。

(表 1-4) バイヤー一覧

業界	招待社数	来場社数
飲食店	2	0
小売店/EC	5	0
ディストリビューター	37	8
合計	44	8

## 2 輸出支援セミナー

香港での試食意見交換会に先立ち、参加生産者に向けた輸出支援セミナーを実施した。第一部では、香港における鶏卵市場動向を紹介し、渡航に先立ち香港の基礎情報や鶏卵市場概況の把握に努めた。第二部では、香港で複数のレストランを経営する経営者に登壇いただき、日本産鶏卵を使用する理由や香港人の食生活・サプライヤーに期待すること等をお話頂いた。その後は、参加生産者とのQ&Aも実施した。第三部では、生産者の香港でのビジネス拡大を見据え、香港側の規制及び輸送の流れについてのセミナーを実施した。

(表 2-1) 輸出支援セミナー内容

大項目	小項目
第一部：香港における鶏卵市場動向	-香港基礎情報 -貿易動向 -日本産鶏卵の流通 -食習慣と鶏卵の消費動向
第二部：香港レストラン経営者講話	-日本産鶏卵に関して -香港人の食生活 -香港飲食店事情 -サプライヤーに期待すること
第三部：香港輸入規制、商品輸送手配	-香港輸入規制 -原材料成分規制 -ラベル表示規制 -輸送の流れ、輸送手配

### 3 試食意見交換会

試食意見交換会は「日本鶏卵セミナー」「4ヵ国産鶏卵試食ワークショップ」「商談会」の3部で構成される。(表3-1)

(表3-1) 試食意見交換会スケジュール

時間	項目
14:00-14:20	日本鶏卵セミナー
14:20-15:05	4ヵ国産鶏卵試食ワークショップ
15:05-15:15	休憩
15:15-17:00	商談会(20分×4回)

#### 3.1 日本鶏卵セミナー

日本鶏卵セミナーでは、日本養鶏協会より、香港バイヤーに向けて日本産鶏卵の特徴や高い安全性を誇る理由、賞味期限に関する考え方の違い等について紹介した。セミナープレゼンテーション後には、バイヤーとのQ&Aも実施した。

(写真3-1) 日本鶏卵セミナーの様子





### 3.2 4ヵ国産鶏卵試食ワークショップ

4ヵ国産鶏卵試食ワークショップでは、バイヤーにアメリカ、タイ、中国、日本の4ヵ国産の鶏卵を、どの産地の鶏卵か分からない状態で「鶏卵を割った際の感覚」「見た目」「香り」「味」の4つの項目で比較しコメントを記入頂いた。「味」に関しては、スクランブルエッグとゆで卵の試食を通して実施した。また、コメント記入後には、各鶏卵がどの産地かを予想してもらった。

(写真 3-2) 4ヵ国産鶏卵試食ワークショップの様子



ワークショップにおける各鶏卵の産地のバイヤーの正答率は以下の通りである。正答率が最も高かったのは、アメリカ産であり75%であった。アメリカ産鶏卵は、その他3ヵ国産鶏卵と比較し輸送に時間を要し、香港市場流通時点では鮮度に差が生じやすいこともあってか、バイヤーにも相違が分かりやすかったと推察される。続いて、日本産、中国産、タイ産の順に正答率が高く、全体の平均正答率は56%であった。

(表 3-2) ワークショップ正答率

産地	アメリカ	タイ	中国	日本
正答率	75%	33%	50%	67%

### 3.3 意見交換会（個別商談会）

面談用テーブルを6セット準備し、バイヤーと生産者がスムーズに商談ができるよう通訳を手配した。当初は生産者企業1社当たり4セッションを計画していたが、バイヤー側より、なるべく多くの生産者との商談を望む声があり、一部バイヤーには5ターム目の機会を確保した。結果、延べ30セッション（生産者企業1社当たり4～5セッション、バイヤー企業1社当たり3～4セッション）の意見交換会を実施した。

（写真 3-3）意見交換会の様子



### 3.4 試食意見交換会に関するバイヤーアンケート

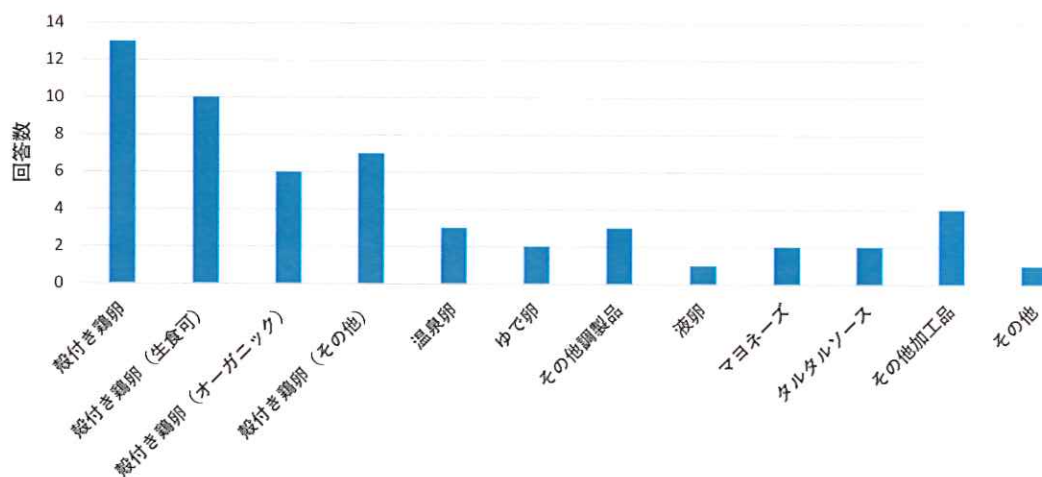
試食意見交換会実施後に、本イベントに関するアンケートをバイヤー向けに実施した。

#### 3.4.1 取扱いたい日本産鶏卵商品（複数選択可）

今後取扱いたい日本産鶏卵商品で多く回答があった順に、殻付き鶏卵、殻付き鶏卵（生食可）、殻付き鶏卵（その他）である。全体として殻付き鶏卵を取り扱いたい商品に挙げるバイヤーが多い傾向であった。「殻付き鶏卵（その他）」にはケージフリー鶏卵が多数含まれると考えられる。「その他」を選択したバイヤーは、「ケージフリー」と記載していた。

一方で、鶏卵調製品及び加工品は回答が少なく、日本産を使用することのメリットの理解が進んでいないと考えられる。

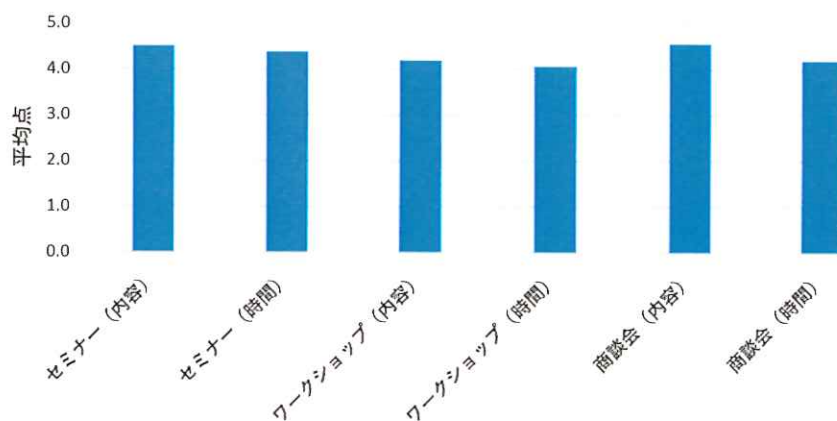
（図 3-1）取扱いたい日本産鶏卵商品（複数選択可）



#### 3.4.2 試食意見交換会に対する評価

試食意見交換会全体に対する評価は以下の通りであった。

（図 3-2）イベントに対する評価（5点満点）





#### 4 所感

##### (全体)

- ・ 2022 年後半から日本での鳥インフルエンザ感染拡大に伴い、日本産鶏卵の共有が不安定であったことから、この時期での実施は多くのバイヤーから大きな関心が寄せられたイベントとなったと評価される。
- ・ 当日参加キャンセルのバイヤーは 1 社もなく、多くのバイヤーはイベント終了時まで会場に滞在していた。また、後日一部バイヤーよりイベントコーディネーターに継続商談についての問い合わせがあったことから、バイヤー側は日本の生産者とのコミュニケーション機会を望んでいたと考えられる。

##### (鶏卵試食ワークショップ)

- ・ 異なる産地の鶏卵をどの産地の鶏卵か分からない状態で比較・コメントしてもらうことで、先入観のないなるべく公平な視点で各鶏卵の特徴を理解頂くことが出来た。
- ・ ほぼすべてのバイヤーが自身の五感で個々の鶏卵の特徴を把握するべく、講師の誘導以外に各自で工夫を重ねていたことから、有意義な内容であったと思われる。
- ・ 日本産鶏卵の正答率が 67%であったことは、香港の業界関係者においては、既に日本産鶏卵の特徴の理解度が一程度浸透していることが推察される。

##### (日本産鶏卵を使用した試食メニュー)

- ・ 茶碗蒸し、玉子焼き、温泉卵（白飯付き）を用意したものの、ほとんど食されなれなかった。試食ワークショップでしっかり鶏卵を口にしていたことから多くの参加者が食傷気味であったと考えられる。

##### (個別意見交換会)

- ・ 1セッション 20 分、延べ 30 セッション（生産者企業 1 社当たり 4~5 セッション、バイヤー企業 1 社当たり 3~4 セッション）の意見交換会を実施したが、一部参加者からは 1 セッション 20 分は短いとのコメントがあった。

##### (添付資料)

添付 1 クリップ集

添付 2 輸出支援セミナー資料